

2014年10月16日

報道関係各位

JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭



JCF 学生映画祭 初の東北・山形での開催が決定！

「第13回 JCF 学生映画祭 in 山形」の

3つのコンペティション部門

<短編部門><長編部門><高専・高校生部門>

応募総数257作品の中から入選作品20作品が決定。

JCF学生映画祭は、1999年、夕張市主催の<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭>の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟（JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略）が、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出し、これまで、北海道夕張市を皮切りに沖縄、東京、愛知万博そして昨年までは、鳥取で開催してまいりました。

本年で13回目の開催を迎えるJCF学生映画祭は、本映画祭として初めて東北・山形での開催となります。コンペティションプログラム3部門（短編部門、長編部門、高専・高校生部門）には、合計で257作品の応募を全国から頂き、この度入選作品20作品を決定いたしました。

入選20作品の上映会を山形市の山形まなび館において11月12日・13日で開催し11月14日・15日に山形国際ムービーフェスティバルと連携し、山形国際ムービーフェスティバル開催会場内で、グランプリ作品上映と合わせて表彰式プログラムを実施させて頂く予定です。これからも本学生映画祭を通じて、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指してまいります。

JCF学生映画祭は第3回より、スカラシップ制度を設けており、本年も入選作品監督の中から選考された優秀な監督に対して、スカラシップを実施する予定です。スカラシップの詳細・スカラシップ監督の決定は、後日発表いたします。

第13回JCF学生映画祭in山形 入選20作品一覧/(応募作品総数257作品)

	学校名	氏名	学年	タイトル	尺
短編部門	デジタルハリウッド大学	三浦光理	3年	アオハルは突然に・・・	3分5秒
	立教大学	野村稔	4年	シューカツ(仮)	15分34秒
	日本大学芸術学部	相馬寿樹	4年	陽だまりの花	14分
	稚内北星学園大学	白石拓也	3年	温泉街に、あかりをつけて。	20分
	東京外国語大学	棚井淑一	3年	憶-おもい-	19分18秒
	慶應義塾大学	鯨岡弘織	3年	君は東京が嫌い	24分
	日本大学芸術学部	田中亮祐	卒	おひるねのやくそく	10分
	日本大学芸術学部	長瀬貴弘	卒	ひこうクラブ	27分
	大阪芸術大学	中川玲	卒	RERCH	22分18秒
長編部門	立命館大学	山脇航	3年	刹那	41分15秒
	東京大学	井上統暉	3年	GROWING	69分
	早稲田大学	饗庭廉人	4年	悪人は誰だ	38分
	東京芸術大学	清水俊平	修士1年	ふざけるんじゃねえよ	41分
	日本大学芸術学部	太田貴寛	卒	飛ぶツチノコ	38分35秒
	東京工芸大学	内田祐基	卒	オールフレンド	68分
	早稲田大学	高橋良多	卒	STELLA	60分
	日本大学芸術学部	高杉麻子	卒	タマとわたし	40分
高専・高校生部門	國學院高校	上野瑛介	高校3年	道化師の悪戯	26分
	米子工専	糸賀輝明	3年	トライアングHR	21分
	湘南学園高校	高橋慶	高校3年	BE-ビー-	45分

<第13回 JCF 学生映画祭 in 山形 開催概要>

- 名称：第13回 JCF 学生映画祭 in 山形
- 公式HP<<http://jef.jpn.com/>>
- 開催コンセプト：次世代を担う才能の発掘・育成
- 開催期間：2014年11月12日(水)～11月15日(土)
- 開催場所
 - ・入選作品上映会：山形まなび館 山形市本町1-5-19
 - ・表彰式及び各部門グランプリ上映会：MOVIEON やまがた
(山形国際ムービーフェスティバル会場) 山形県山形市嶋北1丁目2-2
- 主催：JCF 学生映画祭実行委員会
- 共催：一般社団法人 学生のチカラで日本を元気に
- チェアマン：藤原 洋 (株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長兼 CEO)
- 実行委員長：高 秀蘭 (映画プロデューサー)
- 実行委員：大和田 廣樹 (映画プロデューサー) / 太田 雅人 (株式会社 GETTI GROUP 代表取締役/JCF 学生映画祭ファウンダー)
- 制作運営：JCF 学生映画祭運営事務局
- 協賛：日本クラウドソーシング株式会社
- 協力：NEWWAVE、ドリームキッド、GMHoldings、JCF、GETTIGROUP
- 後援(予定)：山形県/山形市/CampusNavi
- 行事内容
 - ◎コンペティションプログラム【短編部門/長編部門/高専・高校生部門】
 - ・入選作品上映プログラム
 - ・グランプリ受賞作品上映プログラム (山形国際ムービーフェスティバル連携イベント)
 - ◎カンファレンスプログラム

- ◎表彰式プログラム（山形国際ムービーフェスティバル連携イベント）
- ◎スカラシッププログラム
- 入 場 料：無料（入退場自由）

<「JCF 学生映画祭」これまでの歩み>

JCF 学生映画祭は、1989 年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の 1 億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」（現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。）の 10 周年特別協賛企画として、1999 年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の 949 団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟（Japan Club・Circle Federation）が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第 1 回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第 1 回から第 3 回までを夕張市で開催、第 4 回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第 5 回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初！豊の上で映画祭」を開催、2010 年に LVMH（ルイヴィトン）映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君（当時成蹊大学在学）を輩出しました。第 6 回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALL で開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第 7 回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007 年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007 年、2008 年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭 2007・2008 を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元 NPO 法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の 2 年間の活動の成果も残すことができました。2011 年には、鳥取県米子市にて第 10 回記念を開催。映画部門の他、アニメ部門、鳥取観光 CM アイデア部門や開催地の米子市でのアニメ・映画イベントをつなぐ、【米子クリエイティブブリッジフォーラム】や 10 回記念開催で歴代入賞監督で映画の第一線で活躍するを招いたフォーラムの実施致しました。2012 年も鳥取県米子市で映画部門、アニメ部門を開催し、特別企画として、米子市助成の【ヨナゴコレクション】ファッションショーを開催致しました。2013 年は、鳥取県米子市でクリエイティブイベントの【ヨナゴワンダー】に最終日として開催致しました。地域特性に合わせて映画部門、アニメ部門に加えてマンガ部門を新設開催致しました。2014 年(第 13 回)は、JCF 学生映画祭として初めて、東北・山形で開催いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂 1 丁目 1-17 細川ビル 510
第 13 回 JCF 学生映画祭運営事務局
TEL. 03-5572-6234/FAX. 03-5549-2882

以上